

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	吹田操車場跡地開発	階数	地上9階
建設地	吹田市岸部新町17,18,19,20,21,22,23	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,ホテル,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年2月13日
敷地面積	8,236 m ²	作成者	㈱大林組
建築面積	5,761 m ²	確認日	2017年3月24日
延床面積	27,019 m ²	確認者	㈱大林組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 北大阪健康医療都市の中心に位置し、駅前に立地する利便性を活かして、物販・飲食店舗、フィットネスクラブ、ホテルなどの多様な施設を計画することで街区の賑わいを創出する。		0
Q1 室内環境 室内の空気質を健全に保ち、居住者が快適に過ごすことができるよう配慮する。十分に採光が得られる計画とする。	Q2 サービス性能 更新間隔の優れたダクトや配管材を用い、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部、屋上、壁面を緑化し、且つ中高木の植栽を行うことによって、緑ある優しい景観を演出する。又、植栽する木々には一部食餌木を植栽することで生物環境の保全を図る。吹田市指定の保水性のある舗装材を使用し、アス
LR1 エネルギー 効率の優れた機器(LED照明)によるエネルギー量の削減	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を使用し、資源の保護を図る。	LR3 敷地外環境 運用時のCO ₂ 排出量の抑制する。交通負荷を抑制するために駐輪場のスペースを設ける。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0166

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	吹田操車場跡地開発					
		建設地	吹田市岸部新町17,18,19,20,21,22,23					
		用途/区分	物販店 ホテル 集会所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.2	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
		太陽光発電システム						
特に配慮した事項								